

1. 建物概要

建物名称	明星工業株式会社 浜松工場 新第3工場	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	---------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.6 / 5		がんばろう 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.5 / 5		がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.3 / 5		ふつう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.2 / 5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	
		ふつう 3 点以上	
		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	2.6
 ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給水、排水管に硬質塩化ビニル管を使用。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	屋光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	屋光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤管理された自生植物での緑地兼用調整池により生物環境の保全。	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出
3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上		
 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑧底にトップライトを設置。 ⑨照明はLEDを採用 ⑩主要なプレーカーごとに電力量を常時PCにて監視	LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
	2 ⑧	自然エネルギー利用	
	3 ⑨	設備システムの高効率化	
	4 4.1 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑩	運用管理体制	
	 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪超節水型便器の設置 ⑫使用部材を少なくすることで容易に分別可能。	LR-2 1 1.1 ⑪	節水
		1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無
		1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無
		2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減
		2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用
2.1.3 ⑫		躯体材料におけるリサイクル材の使用	
2.1.4 ⑫		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
2.1.5 ⑫		持続可能な森林から産出された木材	
2.1.6 ⑫		部材の再利用可能性向上への取組み	
3 3.1 ⑬		有害物質を含まない材料の使用	
3.2 3.2.1 ⑬	消火剤		
3.2.2 ⑬	断熱材		
3.2.3 ⑬	冷媒		
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭燃焼器具の使用は無し。	LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮	
	2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.5
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性を有する。 ⑰地震時の部分的被害が全体機能の停止を引き起こさないような対策を行っている。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱階高を6200確保することで用途変更、設備配管更新が容易である。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり
		3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ
Q-3 3 3.1 ⑲		地域性への配慮、快適性の向上	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.3
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱階高を6200確保することで用途変更、設備配管更新が容易である。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1 ⑲	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.2
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑦まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤管理された自生植物での緑地兼用調整池により生物環境の保全	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	2 ⑦	まちなみ景観への配慮	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮地表面被覆材に配慮し敷地外への熱的な影響を提言した。	LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善